

リプロダクティブヘルス分野

論文

A 欧文

A-a

1. Kataoka Y, Masuzawa Y, Kato C, Eto H: Maternal and neonatal outcomes in birth centers versus hospitals among low-risk pregnancies in Japan: A retrospective cohort study. *Japan Journal of Nursing Science*, 15(1), 91-96, 2018 (IF: 1.062)

A-b

1. Iida M, Kataoka Y, Eto H, Tadokoro Y, Masuzawa Y, Yaju Y, Asai H, Sakurai A, Horiuchi S: The outline of "Japan Academy of Midwifery: Evidence-based guidelines for midwifery care in pregnancy and childbirth-2016 Edition", *Journal of Japan Academy of Midwifery* (日本助産学会誌), 32(1):73-80, DOI: 10.3418/jjam.JJAM-2017-0038

A-e

1. Eto H, Manago Y, Kato C, Nishihara K: Infants' sleep development during the 1 year after birth under nocturnal co-sleep conditions. *Journal of Sleep Research*, 27(Suppl 1), 525, 2018
2. Nagaura Y, Uekata S, Kato C, Eto H, Kondo H, Maeda T: The impact of rotating work schedules on sleep quality among hospital female nurses and midwives. *Journal of Sleep Research*, 27(Suppl 1), 260, 2018
3. Takahata K, Eto H, Shishido E, Horiuchi S: Oxytocin response following breast stimulation in pregnancy: A systematic review. *World Nursing 2018_Poster abstracts*: 135, 2018
4. Horiuchi S, Takahata K, Shishido E, Eto H: The Effect of Aromatherapy and Breast Stimulation on Oxytocin Release. *World Nursing 2018_Poster abstracts*: 120, 2018

B 邦文

B-a

1. 山本直子, 中尾優子, 大石和代: 35歳以上の母親がどのようにして母乳栄養を継続できたのか?—母乳栄養開始から終了までの縦断的研究—. *母性衛生* 58(4), 625-632, 2018
2. 佐々木規子, 中込さと子: 就学準備期から就学期の Prader-Willi 症候群児の保護者と担任間のコミュニケーションの実態調査—保護者への質問紙調査から—. *日本遺伝看護学会誌* 16(2): 79-88, 2018

B-b

1. 松本 恵, 矢野 洋, 大坪竜太, 永安 武, 佐々木規子: ハイリスクグループに対する検診—ハイリスクグループへの乳がん検診サーベイランスの実際—. *日本乳癌検診学会誌* 27(1): 1-6, 2018

B-c

1. 大石和代: 長崎県離島の開業助産婦. (中村安秀 (編): 地域保健の原点を探る—戦後日本の事例から学ぶプライマリヘルスケア. 杏林書院, 東京, pp.63-85 所収) 2018
2. 江藤宏美: 3 リプロダクティブヘルスに関する動向. (中込さと子, 小林康江, 荒木奈緒 (編): 概論・リプロダクティブヘルスと看護, ナーシング・グラフィカ母性看護学①, メディカ出版, 大阪, pp.43-52 所収) 2018
3. 江藤宏美: 11 特殊なニーズをもつ妊産婦と家族への支援. 4 災害時の妊産婦への支援. (小林康江, 中込さと子, 荒木奈緒 (編): 母性看護の実践, ナーシング・グラフィカ母性看護学②, メディカ出版, 大阪, pp.337-340 所収) 2018
4. 江藤宏美: 13.睡眠発達とケア. (日本ディベロップメンタルケア (DC) 研究会 (編): 標準ディベロップメンタルケア改訂 2 版, メディカ出版, 大阪, pp.279-285 所収) 2018
5. 森藤香奈子: III 遺伝/ゲノム看護の実際 [小児期の遺伝/ゲノム看護] E 保因者ケア. (有森直子, 溝口満子 (編): 遺伝/ゲノム看護, 医歯薬出版株式会社, 東京, pp.116-127 所収) 2018

B-e

1. 渡名喜海香子, 森藤香奈子, 松本 正, 三浦清徳, 増崎英明, 宮原春美: NIPT を受検した夫婦の経験—NIPT を受検したこと, 遺伝カウンセリングへの思い—. 第 17 回日本遺伝看護学会学術大会, *日本遺伝看護学会誌* 17(1): 38, 2018
2. 鹿田 葵, 宮本大輔, 前田真実, 佐々木規子, 宮原春美, 近藤達郎, 松本 正, 森藤香奈子: ダウン症者の障害基礎年金申請時に保護者が感じる困難感の構造. 第 17 回日本遺伝看護学会学術大会, *日本遺伝看護学会誌* 17(1): 41, 2018
3. 永井真理子, 森藤香奈子, 佐々木規子, 松本 正, 近藤達郎, 宮原春美: 出生後遺伝学的検査を受けた児の結果開示までの母親の経験—不安な気持ちを一人背負い込む母親に着目して—. 第 17 回日本遺伝看護学会学術大会, *日本遺伝看護学会誌* 17(1): 47, 2018
4. 永野明子, 佐々木規子, 森藤香奈子, 近藤達郎, 松本 正, 宮原春美: 長崎県における遺伝に関する認識調査—8年前の調査と比較して—. 第 17 回日本遺伝看護学会学術大会, *日本遺伝看護学会誌* 17(1): 52, 2018

5. 森藤香奈子, 鹿田 葵, 宮本大輔, 前田真実, 渡名喜海香子, 永井真理子, 佐々木規子, 宮原春美, 松本 正, 近藤達郎: ダウン症者の生育記録に関する認識—障害基礎年金申請の保護者の振り返りを通して—. 日本人類遺伝学会第 63 回大会, 日本人類遺伝学会第 63 回大会抄録集 378, 2018
6. 日比野佳奈, 江藤宏美, 永橋美幸: 就労している性成熟期女性のヘルスリテラシーと生活習慣との関連. 日本助産学会誌 31(3): 370, 2018
7. 江藤宏美, 真名子優香: NICU 入院中の早産児の昼夜の睡眠推移. 日本赤ちゃん学会第 18 回学術集会プログラム・抄録集 101, 2018
8. 井上和美, 近藤英明, 岩本愛美, 福寿美月, 松尾幸美, 陣内ちさ, 加藤千穂, 江藤宏美, 和泉元衛: レストレスレッグス症候群の症状評価における Cambridge-Hopkins 質問票 13 日本語版 (CH-RLSq13) の有用性について. 日本睡眠学会第 43 回定期学術集会プログラム・抄録集, 264, 2018
9. 長浦由紀, 近藤英明, 上片さくら, 加藤千穂, 江藤宏美, 前田隆浩: 女性看護師における交代勤務と睡眠の質. 日本睡眠学会第 43 回定期学術集会プログラム・抄録集 234, 2018
10. 加藤千穂, 江藤宏美, 近藤英明: 女性看護師の睡眠とレストレスレッグス症候群の関連. 日本睡眠学会第 43 回定期学術集会プログラム・抄録集 221, 2018
11. 江藤宏美, 加藤千穂, 近藤英明: 妊娠糖尿病妊婦のレストレスレッグス症候群と周産期の睡眠アウトカムへの影響. 日本睡眠学会第 43 回定期学術集会プログラム・抄録集 221, 2018
12. 橋村 愛, 加藤千穂, 小橋川直美, 柘植久美, 江藤宏美: 周産期領域の指さしコミュニケーションツールの作成. 母性衛生 59(3): 269, 2018
13. 飯田真理子, 江藤宏美, 片岡弥恵子, 宍戸恵理, 下田佳奈, 田所由利子, 馬場香里, 増澤祐子, 八重ゆかり, 堀内成子: 助産実践のための分娩期ガイドラインの作成 第 1 度、第 2 度会陰裂傷は縫合が必要か? 母性衛生, 59(3): 309, 2018
14. 増澤祐子, 飯田真理子, 江藤宏美, 片岡弥恵子, 宍戸恵理, 下田佳奈, 田所由利子, 馬場香里, 八重ゆかり, 堀内成子: 助産実践のための分娩期ガイドラインの作成 分娩第 3 期の積極的管理と待機的管理ではどちらが望ましいか? 母性衛生 59(3): 308, 2018
15. 梅野志帆, 江藤宏美, 加藤千穂, 長浦由紀, 近藤英明: 妊娠中期から後期にかけての睡眠呼吸障害. 九州睡眠呼吸障害研究会抄録, 7 (第 1 回九州睡眠呼吸障害研究会), 2018
16. 長浦由紀, 上片さくら, 加藤千穂, 江藤宏美, 近藤英明: 病院勤務の女性看護職の勤務形態, クロノタイプ及びレストレスレッグス症候群と睡眠の質. 不眠研究会抄録集 2019, 9 (第 34 回不眠研究会), 2018
17. 中島美鈴, 大石和代, 永橋美幸: 妊娠中期における胎児へのかかわりに関する記録が妊婦の胎児愛着に与える効果. 日本助産学会誌 31(3): 318, 2018
18. 日比野佳奈, 江藤宏美, 永橋美幸: 就労している性成熟期女性のヘルスリテラシーと生活習慣との関連. 日本助産学会誌 31(3): 370, 2018
19. 溝口巴奈, 川田紀美子, 谷口初美, 永橋美幸: 就労している性成熟期女性のヘルスリテラシーと生活習慣との関連. 日本助産学会誌 31(3): 408, 2018
20. 高柳美里, 川浪幸子, 野田翼, 森帆奈美, 山口真美, 本多直子: 腎移植後の思春期患者とその家族への退院指導の取り組み. 第 49 回日本看護学会-慢性期看護-学術集会抄録集 2018
21. 佐々木規子, 中込さと子: 就学準備期から就学中にある Prader-Willi 症候群の子どもと家族の生活マネジメントに関する記述研究. 日本遺伝カウンセリング学会誌 39(2): 136, 2018
22. 佐々木規子: 多様性と唯一性を伝える市民に向けた遺伝教育. 日本遺伝看護学会誌 17(1): 15, 2018
23. 野間口千香穂, 荒武亜紀, 佐々木規子, 中込さと子: 小児看護専門看護師が認識している遺伝看護ケアの困難. 日本遺伝看護学会誌 17(1): 49, 2018
24. 松本 恵, 佐々木規子, 渡名喜海香子, 矢野 洋, 永安 武: 遺伝性腫瘍と外科医 当院での現状と九州地区のネットワークについて. 日本外科学会定期学術集会抄録集 118 回: 2145, 2018
25. 江藤宏美: 地域とともにすすめる母乳育児. 切れ目なくみんなで支える, アンケート報告. 長崎県保育施設の母乳育児状況, 第 27 回母乳育児シンポジウム, 26, 2018
26. 平澤美恵子, 江藤宏美: 教育機関評価員研修会～評価員の役割について～. 日本助産学会誌 32(3): 506, 2018
27. 日本助産学会編集委員会: 第 1 回 研究を始めよう! 臨床疑問を研究テーマに～文献検討のいろは～. 日本助産学会誌 32(3): 272, 2018

28. 日本助産学会ガイドライン委員会: ガイドラインの普及～エビデンスに用いた数値の解釈と臨床への活用～. 日本助産学会誌 32(3): 74, 2018

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	4	0	4	24

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
大石和代・教授	評議員	日本熱帯医学会
大石和代・教授	長崎いのちを大切にする会 顧問	NPO 法人
大石和代・教授	長崎県総合公衆衛生研究会 役員	長崎県
宮原春美・教授	長崎県感染症対策委員会エイズ・性感染症専門部会	長崎県
宮原春美・教授	長崎県母性衛生学会常任理事	長崎県母性衛生学会
宮原春美・教授		
宮原春美・教授	長崎県小児保健学会幹事	長崎県小児保健協会
宮原春美・教授	遺伝カウンセリング・ジャパン理事	遺伝カウンセリング・ジャパン
宮原春美・教授	第17回日本遺伝看護学会学術大会 大会長	日本遺伝看護学会
江藤宏美・教授	副理事長、総務委員会（委員長）	一般社団法人日本助産学会
江藤宏美・教授	日本助産学会誌編集委員会（委員長）	一般社団法人日本助産学会
江藤宏美・教授	ガイドライン委員会（委員）	一般社団法人日本助産学会
江藤宏美・教授	理事、英文誌編集委員会（委員長） Japan Journal of Nursing Science, Associate editor	公益社団法人日本看護科学学会
江藤宏美・教授	事務局長、（助産実践評価部・助産教育評価部担当理事）	一般財団法人日本助産評価機構
江藤宏美・教授	助産教育評価部評価委員	一般財団法人日本助産評価機構
江藤宏美・教授	理事	長崎県母性衛生
江藤宏美・教授	将来構想委員会（委員）	公益社団法人全国助産師教育協議会
江藤宏美・教授	雑誌「看護科学研究」編集委員	大分県立看護科学大学看護研究交流センター
江藤宏美・教授	雑誌「ペリネイタルケア」編集委員	メディカ出版株式会社
江藤宏美・教授	理事（会計）	長崎大学助産師同窓会
永橋美幸・准教授	幹事	長崎大学助産師同窓会
永橋美幸・准教授	理事	一般社団法人長崎県助産師会
永橋美幸・准教授	理事	公益社団法人全国助産師教育協議会
永橋美幸・准教授	日本助産学会誌 専任査読委員	一般社団法人日本助産学会
森藤香奈子・准教授	幹事	長崎県小児保健協会
森藤香奈子・准教授	倫理委員会委員	社会福祉法人聖家族会みさかえの園総合発達医療センターむつみの家
森藤香奈子・准教授	長崎市子育て支援センター相談員	片淵地区もりのくれよん 住吉地区びよびよ

森藤香奈子・准教授	長崎県看護協会学会誌査読委員	長崎県看護協会
森藤香奈子・准教授	第17回日本遺伝看護学会学術大会企画委員	日本遺伝看護学会
本多直子・助教	子育て支援センター内での育児相談業務	長崎市子育て支援センター：びよびよ、もりのクレヨン、ひなたぼっこ
本多直子・助教	日本遺伝看護学会第17回学術大会 実行委員	日本遺伝看護学会
本多直子・助教	高大連携推進委員	長崎県教育委員会
本多直子・助教	長崎県看護学会学術集会抄録査読員	長崎県看護協会
佐々木規子・助教	理事	日本遺伝看護学会
佐々木規子・助教	遺伝看護実践推進委員会	日本遺伝看護学会
佐々木規子・助教	専任査読委員	日本遺伝看護学会
佐々木規子・助教	教育推進委員会	日本人類遺伝学会
佐々木規子・助教	遺伝看護委員会	日本遺伝カウンセリング学会
佐々木規子・助教	遺伝教育委員会	日本遺伝カウンセリング学会
佐々木規子・助教	編集委員会	日本遺伝カウンセリング学会
佐々木規子・助教	理事	長崎県母性衛生学会
佐々木規子・助教	講師	第9回複雑性悲嘆研修会
佐々木規子・助教	企画委員	日本遺伝看護学会第17回学術大会
佐々木規子・助教	プログラム委員	第42回日本遺伝カウンセリング学会学術集会
佐々木規子・助教	高大連携推進委員	長崎県教育委員会
加藤千穂・助教	日本助産学会若手研究者ネットワーク	日本助産学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
宮原春美・教授	日本学術振興会	代表者	基盤研究(B) 青年期発達障害者の性における対人教育プログラム開発に関する研究
江藤宏美・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金・基盤研究 B 早産児から1歳までの睡眠発達のディベロップメンタル指標の検討
江藤宏美・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 周産期におけるレストレスレッグス症候群の影響と生理学的実態の解明：前向きコホート研究
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究 A テーラーメイドな出産・育児を促進するオキシトシン活性化プログラムの開発と普及
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究 B ICTを活用したDVハイリスク妊婦への支援プログラムの開発と評価
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究 B 女性活躍推進時代に働く女性と男性の地域包括子育て母乳育児支援プラットフォーム

			構築
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究 C 尿失禁を予防する助産ケアのプログラム開発
永橋美幸・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究補助金 基盤研究 (C) 妊婦の腹部を介した胎児へのタッチングと胎児愛着との関連～オキシトシンの推移から～
森藤香奈子・准教授	日本学術振興会	代表者	基盤研究 (C) 2016年4月～2020年3月 課題名「小中学生を対象とした遺伝教育プログラムの開発と評価に関する研究」(研究代表者)
森藤香奈子・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 2017年4月～2020年3月 ホームモニタリングによるダウン症児の特異な睡眠体位と睡眠呼吸障害の関連の検討
本多直子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 思春期慢性疾患患者の復学支援アセスメントツールの開発
本多直子・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 小中学生を対象とした遺伝教育プログラムの開発と評価に関する研究
佐々木規子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) プラダー・ウィリー症候群のある児が社会的適応を促進する為のベストプラクティス開発
佐々木規子・助教	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究 出生前診断実施時の遺伝カウンセリング体制の構築に関する研究
加藤千穂・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金・若手研究 B ウイメンズヘルスにおけるレストレスレッグス症候群の実態と関連要因の探索

その他

非常勤講師

氏名・職	職 (担当科目)	関係機関名
大石和代・教授	非常勤講師 (母性看護学)	島原市医師会看護学校
永橋美幸・准教授	実習指導者会講習会「助産師課程」	公益社団法人長崎県看護協会
佐々木規子・助教	非常勤講師 (遺伝カウンセリング)	長崎市医師会看護専門学校
佐々木規子・助教	非常勤講師 (母性看護学方法論 I・II)	島原市医師会看護学校
佐々木規子・助教	非常勤講師 (医療遺伝学, 女性健康看護学演習)	甲南女子大学
佐々木規子・助教	非常勤講師 (遺伝看護学)	西南女学院大学

学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
大石和代・教授	平成30年度研究奨励賞 (英文誌: 医)	日本農村医学会	「J Rural Med」(日本農村医学会誌) に発表した論文「Associations

	師・研究者部門)		among anthropometric measures, food consumption, and quality of life in school-age children in Tanzania. 」に対して授与された。
江藤宏美・教授	Best Poster Award	4th World Nursing & Healthcare Conference	妊娠期に乳頭刺激を行った女性におけるオキシトシンを測定した論文のレビュー(レビューした論文の概要、介入方法、オキシトシン測定結果と子宮収縮発生結果について発表)